

平成 28 年度

学校だより

第 39 号

2017 年 3 月 18 日

ヒューストン日本語補習校

平成 28 年度 最終日

平成 28 年度も本日が最終日です。冬休み明けの臨時休校のため、本年度の授業日は合計 41 日となりました。

現地校や種々の活動との両立を目指す中、一生懸命に補習校の学習に取り組んだ園児・児童・生徒の皆さんを讃えたいと思います。

また、毎回の送迎や家庭学習等にご協力いただいた保護者の皆様にも感謝申し上げます。

第 45 回卒園・卒業・修了証書授与式

本日、幼稚部・小学部・中学部の卒園・卒業証書授与式、高等部の修了証書授与式が挙行され、それぞれ 40 名、41 名、15 名、1 名に学校長より証書が授与されます。本校に通った期間に違いはありますが、人生の新たなステージに昇ってくれることを期待します。

幼稚部卒園証書授与式 (9:15~10:05)

小・中学部卒業証書授与式 (10:20~11:35)

(含・高等部修了証書授与式)

平成 28 年度修了式 (12:40 から 13:00)

(含・離任式)

卒園・卒業生へのお祝いメッセージ

山崎弘光前校長より

卒園・卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

Work hard Be nice Find your greatness

いろいろな場ではいっぱい勉強し、様々な人との交流の中でさらに成長し、心豊かにたくましく自らの人生を歩いていってください。

日本にとっての国際化といったことは、ごくごく近い将来には特別な課題ではなく、当たり前のことになっていくでしょう。もちろんその担い手は君たちでもあるのです。

ヒューストンでの生活と学びを自信と誇りに世界に羽ばたき、共に未来を切り開いていってください。

退職される先生方のご挨拶

熊谷芳江 先生

2017年3月末日をもって、ヒューストン日本語補習校を退職することになりました。長い補習校の勤務生活は、私にとってアメリカ生活の人生の一部でした。

「teaching is learning」の通り、私は、皆さんに教えながら、同時に沢山の事を学んできました。とても感謝しています。ありがとうございました。皆さんには、「強く、優しく、美しく」生き、心豊かな人になってほしいと願いながら、ヒューストン日本語補習校の発展を心よりお祈り申し上げます。

縄手千栄 先生

金曜日の夜は、興奮気味なのなかなか寝つけない日々があっても、土曜の朝に子ども達の可愛い顔を見るとどんな疲れも吹っ飛ばす気が致しました。

通算12年間、このヒューストン日本語補習校で私は教室に立つひとりの指導者として、毎週子ども達に育てられたことを実感しています。まだまだ指導者としては未熟なのですが、気づけば既に親の老後や退職した夫と向き合う第二の人生を歩む頃となりました。

お世話になりました運営委員会の皆様を始め、PTAの皆様にも深くお礼申し上げます。そして、これからもヒューストン日本語補習校の発展を願っております。

後藤明日美 先生

3年間のヒューストン日本語補習校での勤務を終え、4月からは三水会館で働くことになりました。毎週児童たちと共に学んできた経験を生かし、新しい職場でも頑張っていけたらと思っています。いつでも元気と笑顔でいっぱいの子供達、私の至らない点を暖かく見守りサポートして下さいました保護者の方々、そして熱意をもって指導に当たり応援して下さいました先生方、皆様との出会いに心より感謝しています。ありがとうございました。

ウァング朋子 先生

補習校は、生徒の皆様にとってはオアシス的な存在です。2年間、講師として働かせていただいたことは、楽しい学びの環境を提供するために関わっている多くの方々の努力を裏側から拝見する貴重な経験でした。ご指導いただいた先生方とスタッフの方々、一緒に学んだ生徒の皆様にも感謝すると共に、これからもヒューストン補習校が楽しく学べるオアシスでありますようお祈り申し上げます。

小澤幸世 先生

補習校に着任してちょうど2年が経ちました。その時、みなさんと一緒に成長していきたいと抱負を学校だよりに書きました。1回1回の授業が勉強で反省もたくさんありました。そのおかげで少しずつですが、成長できたと思います。これも、みなさんや保護者の方、先生方のご協力のおかげです。4月の出産の為、退職しますが、また戻ってこられるのが目標です。ありがとうございました。

(天野総領事講演会より)

一味違う考え

中2 塚谷 朋香

先日は、忙しい中、天野総領事が補習校に来てくださり、講演会という形で様々な話をしてくださった。学生時代や、イラク戦争の本拠地での生活など、厳しく、命がけの人生を歩んできたという天野総領事の話は印象深く、心に残るものばかりだった。

「苦しかったことは後で財産になって返ってくる。今無駄だと思うことも将来には利益があるかもしれない。」天野総領事の話のなかで一番心に残った言葉だ。どうせ無駄だろう、大変だしな、と今までは楽な方へ、楽な方へと逃げがちだった。しかし、頑張った分だけ、あとで報われる、や、将来に役立つかもしれない、と思うとやる気が湧いてくるし、楽ばかりしていたら成長しないから、少しは辛い道を取ってもいいかもしれないと思うところもある。さらに、天野総領事という、実際の例が目の前にあったため、とても説得力があった。

また、天野総領事が繰り返し言っていた「覚えてさえいれば、いつかはそれを理解する時が来る。だから、今はとにかく知識を詰め込むことが大事。」という言葉がとても興味深く感じた。天野総領事は、今、知識を持っていることが大事で、様々な経験などから自然に理解すると言っていたが、半信半疑などところがあるのは事実だ。しかし、違う考え方をする人の話を聞くのは、とても新鮮だった。

他にも、「自分が汗を流し、苦勞して得た物は絶対に忘れない。」や、「自ら学ぼうとする姿勢と、やる気を持つことが重要。」などの天野総領事の話には感心したし、ピカリについての逸話には驚かされた。先日は、講演会でたくさんのためになる教える聞くことができ、とても満足だ。一味違う考えに触れることで刺激を得られたし、とても良い経験となった。

自分なりの人生

中3 丸山 陽菜

先週の土曜日、在ヒューストン日本総領事館で仕事をしておられる天野さんの講演会があった。総領事としての仕事内容だけでなく、「本当の学問」や努力のしかた、今までどんな生活をしてきたかのかなどいろいろな話を聞くことができた。私が特に心に残ったのは、勉強のしかたについての話だ。天野さんは、受け身でいるのはだめで、自分で得たものだけが身に付くと教えてくださった。誰かから教えてもらったことをもとに、自

分で考えを広げていかなければいけないのだなと思った。また、知識がなければ思考はできないという話で、私はその通りだなと思った。何も知らなければ、自分の思ったことや感じていること、意見を説明することができないと思う。だから、いつもいろいろなことに興味を持つことが大切なんだなと知ることができた。

そして、もう一つ心に残っているのは、「何が起こるか分からないから、人生は面白い」という話だ。天野さんは中学生の頃、英語が嫌いで、自分が総領事になるとは思っていなかったそうだ。私も、一年前の今頃は日本にいて、アメリカで暮らすことになるとは思っていなかった。何が起こるか分からなくて、悪いことも良いことも起きるからこそ面白いんだなと思う。これからはいろいろなことに興味を持ち、自分なりの人生を歩んでいけたらなと思った。

(中学部2年国語パネルディスカッション後の作文) 「いつ結婚すべきか」

中2 吉川 弘紀

「いつ結婚すべきか」というテーマについて、僕は遅く結婚するべきだと思うというのが考えです。理由はいくつかあります。

1つ目は、人生の中で多彩な経験を積んだ、30代前半なら、職業が安定しているため、お金も安定するので、苦しい結婚生活を送らなくて済むという事。

2つ目は、20代前半で、結婚するよりも離婚の可能性が低いからです。これは、お互い年齢的にもう良い結婚相手に、巡り会えないと思ってるからです。

これ早く結婚すべきという意見の反論かつ、遅く結婚すべき理由にもなるのですが、もし自分の一生の中で、成し遂げたいと思っている事、趣味や自分の夢、これらの事があなたにあるなら、20代という年代は、外せないと思うからです。確かに、早くから付き合っている人と、結婚することも重要ですが、一生に一度の最盛期を、子供を授かるという前提で、子育てにめいっぱい、また、そのお金を稼ぐのに精一杯で、自分のことが何もできない、なんてことは僕は嫌です。子供を授かる前提はおかしい、という人に対しては、結婚しても相手とは、一緒にずっと居なくても大丈夫、やりたい事はできる、という意見なのでしょうが、そんなに相手が我慢してくれるのでしょうか。やはり、結婚したばかりは、一緒に多くの時間を過ごさないと、最悪離婚につながるのではないのでしょうか。また、早く結婚したなら、早めに子供を生み、親近感を持ちたいという欲が出て、子供を生まないという、という結果になりうる結果は

低いのではないのでしょうか。

これらの事から、早く結婚すると、自分の夢や全力で打ち込みたい物に取り組みないのではないのでしょうか。なので、個人的ではありますが、ぼくの意見は少し遅めに結婚すべきというものです。

また、結婚しないという考えの方は、今だけで、後からするのではと思う。人間誰でも一生に一度は恋をするものだと思ふからです。ただ、みんなの前で言うことは、自分のプライドに傷がつくなど、余計なものをかばっていると思います。

人間は一人だけだと生きていけません。人と支えあい、励まし合い、生きていく生物なのです。自分の時間がほしいなら、相談できる相手を見つける、他の人のことが大変、という人は、自分の事は自分でやれる人を見つけるのはどうでしょう。あなたの父や母も、あなたが一人だと安心できません。

これらから僕は、結婚すべきだか、少し遅めという意見です。

お知らせ

(授業用の学習ノートについて)

4月当初に小学部で使用する学習ノート(国語・算数)を児童全員に1冊ずつ配布します。

例年、年度当初に新しいノートを購入する方が多く、他の業務と重なった事務職員が対応できずにご迷惑をかけたり、金銭(小切手)のトラブル等を避けるための措置であることをご理解ください。

なお、現在使用中のノートはそのまま上学年で使用することができます。使い終わってから新しいノートに変えていただいても結構ですし、学年の始めから使用していただいても結構です。

新年度4月8日(土)の日程

全員、通常登校(6校時:弁当必要)

始業式 9:10~9:30

※入園・入学を除く全学年参加

入学式(中学部・高等部) 9:40~10:30

※新小4以上の学年が参加

入園・入学式(幼稚部・小学部) 10:45~11:40

※新幼・新小1及び新小2代表児童のみ参加

記念写真撮影(時間がずれる可能性有り)

中1(11:30)、高1(11:50)、幼(12:00)

小1(12:20)、職員(12:40)

(入園・入学生保護者も一緒に撮影します。)

※上記以外の学年は後日の撮影となります。

※写真撮影時の欠席者への対応はしません。

中学部 学習成績表彰

【年間優等賞】

中3 高田海悠、マッコウリー蕙莉香

中2 塚谷朋香

中1 中村太一、江見亜香里

平成29年度の学級編制(予定)

幼稚部	4学級	中学部1年	2学級	
小学部1年	4学級	中学部2年	2学級	
	2年	4学級	中学部3年	1学級
	3年	3学級	高等部1年	} 1学級
	4年	4学級	2年	
	5年	3学級	3年	
	6年	2学級	(教科選択制)	

《学籍》

転出

幼宙(高田理央)、小1A(豊田莉士)

小1D(量万櫻)、小3C(高田理紗子)

小5B(豊田乃結)

在籍数(3月18日現在)487名

幼39名、小345名、中72名、高31名

(3月18日付け転出予定者)

幼宙(上山颯介)、幼宙(燕谷紗英)

小1A(浅井 泰)、小1B(加藤奈々穂)

小1B(ルモイン・ミッシェル)

小1B(ルース・ニコラス)

小1D(天草斗誠)、小1D(金澤真弥)

小2B(中村 晶)、小2C(田中智貴)

小2C(三谷克実)、小3A(島 佑樹)

小3B(田中大成)、小3C(渡辺悠太)

小3D(水野隆太)、小3D(大野 燦)

小4A(藤川 隼) 小5A(畠中琳奈)

小5B(服部恵大)、小6A(中村 泰)

小6B(田中翔子)、中1A(鯉沼大和)

中1B(畠中悠汰)、中2(服部 愛)

中2(大川拓馬)、中3(鯉沼明日香)

中3(坂本明音)、中3(本多紗良)

高2(原津拓巳)、高2(藤原拓真)

高2(藤崎 新)、高2(佐藤沙彩)

高2(竹山泰虎)

Japanese Language Supplementary School of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel: 281-531-6743 / Fax: 281-531-6795 (事務局 火~金)

Tel.Fax: 713-973-0659 (職員室 土のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

(文責) 校長 立野誠之

